

感謝状

田城弘殿

あなたとは、たくさんの思い出があります。
周囲に見つからぬよう千ヨコシートを持ち出し、かくれて2人で食べたこと。補聴器がないと耳が聞こえにくいのに、まくら元で人形のくつとすりかえ、困らせたこと。幼稚園や学校の発表会の動画、習字の作品などを見て、喜び、ほめてくれたこと。

これからも一緒にやりたいこと、話したいこと、見てほしいことがあったのにと、思うと残念でなりません。けれども、私のことが大好きだったあなたは、きっと今も変わらず私を見守ってくれていることでしょう。決して返すことのできないあなたからもらった愛情に代わって、あなたの好きだった千ヨコシートをお供えしたいと思うのですが、私の右手が勝手に千ヨコシートを口に運んでしまっています。すぐに無くなってしまうであろうお供えと共に、この感謝状を送ります。

令和四年八月十五日 初盆の縁に

六年二組 あなたのひ孫 石川美薫